



第 **78** 期
報 告 書

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

株 の 様 へ

平素は格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により被災された皆様へ、心よりお見舞申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当期の日本経済は、引き続き厳しい状況で推移しましたが、テレビ広告費は、スポット広告市況が回復した影響等により、6年ぶりに増加に転じました。

こうした環境下、当社グループは「2010経営方針」に掲げた「収益力の向上と視聴率トップ奪還の一年に!」の目標の下、全役員・従業員が一丸となって努力してまいりました。その結果、売上高経常利益率(連結)が、平成15年度以来7年ぶりに10%超に回復するとともに、視聴率においても、首位局に肉薄することができました。

さらに、当社グループは、この度新たに策定した「2011経営方針」に基づき、東日本大震災に起因する厳しい経営環境が予想される中、収益体質の改善を更に進めながら、地上放送において視聴率トップの座を奪還することに全力を注ぐ所存です。また、強力なコンテンツの創造をもとに、テレビ広告収入以外の収入の伸長にも積極的に取り組んでまいります。

なお、配当に関しまして、当社は、積極的な事業展開のための内部留保との調和を図りながら、継続的で安定的な株主還元を行うことを基本方針としております。当期につきましては、同基本方針に基づき決定した年間配当金290円から、すでに実施済の中間配当90円を差し引いた200円を期末配当とさせていただきます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



日本テレビ放送網株式会社

代表取締役
会長執行役員 細川 知 正 (写真左)

代表取締役
社長執行役員 大久保 好 男 (写真右)

CONTENTS 目次

株主の皆様へ	01
日テレ TOPICS	02
2011経営方針	05
事業の報告	07
営業の概況	11
連結財務諸表	12
会社情報	13
株主様ご招待のご案内	14

【表紙について】まもなくデジタル放送に完全移行



現在のアナログ放送は、7月24日までにデジタル放送に完全移行します。アナログ受信機だけでは視聴できなくなりますのでご注意ください。

※東日本大震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島は3県につきましては、完全移行が遅延されます。

TOPICS★1

視聴率絶好調! 営業収益もアップ!

平成22年度は視聴率4部門すべてでトップ局に肉薄、今年1月～3月では4冠も獲得し、絶好調でした。平成18年スタートの「タイムテーブルの構造改革」が功を奏しコンテンツ力もアップ、トップ奪還の機が熟してきました。「24時間テレビ」「箱根駅伝」「ワールドカップ南アフリカ大会」「さんま&SMAP!美女と野獣」「ものまねグランプリ」「世界1のSHOWタイム」などの大型コンテンツも高い支持を得ています。

また、レギュラー番組やスペシャル番組を効率的に編成することで、「週間4冠獲得回数」も前年度の7回を上回る9回を記録しました。特にゴールデン帯では、トップ獲得回数を年度8回から21回に大きく伸ばすことができました。クライアントからのニーズが高い20代から40代を中心とした女性視聴者からの支持も伸びを見せており、好調なスポットセールスを支えるなど、営業収益アップにも成功しました。



© J.LEAGUE PHOTOS

ワールドカップ南アフリカ大会グループ予選突破を決めた「日本VSデンマーク戦」を生中継。早朝にもかかわらず視聴率40.9%! 平成22年6月25日(金)1:10～6:30 放送



「ぐるぐるナインティナイン」
毎週木曜日 19:56～20:54 放送



「真相報道 バンキシャ!」
毎週日曜日 18:00～18:55 放送



「しゃべくり007」
毎週月曜日 22:00～22:54 放送

TOPICS★2

人気ドラマをフルデジタルで！ 日本テレビの新たな取り組み

これまでの放送形態、視聴スタイル、プロモーション手法にとらわれない新たな取り組みにチャレンジしました。

そのひとつが有料動画を配信する「日テレオンデマンド」です。日本テレビ系で放送された選りすぐりの番組をネットで見ることができるこのポータルサイトに、日本テレビの連続ドラマ初の見逃し配信として「デカワンコ」が登場、大好評を博しました。

また、AKB48が総出演したドラマ「桜からの手紙～AKB48 それぞれの卒業物語～」では、最新のビジュアル手法を駆使。2つのデジタルチャンネル(041Ch、042Ch)それぞれで、スペシャル映像を視聴することができる、日本テレビ初のマルチチャンネル放送も実施しました。

「桜からの手紙～AKB48
それぞれの卒業物語～」
平成23年2月26日(土)～3月6日(日)
9夜連続 全17話放送



「デカワンコ」平成23年1月15日～3月26日 毎週土曜日 21:00～ 放送



TOPICS★3

「金曜ロードショー」 25周年! 劇場用映画も好調!



「金曜ロードショー25周年」

平成22年10月に25周年を迎え、11月には当社アナウンサー西尾由佳理(中央)、杉上佐智枝(右)、森麻季(左)が、「ラブ&ファンタジーシリーズ」のナビゲーターとして登場。



「借りぐらしのアリエッティ」

米林宏昌監督の瑞々しい表現も話題となった作品。スタジオジブリの新たな才能の胎動を感じさせた。

© 2010 GNDHDDTW



「GANTZ」

二宮和也、松山ケンイチの競演も話題に。「GANTZ PERFECT ANSWER」も4月23日(土)公開し、大ヒット!

©奥浩哉/集英社 ©2011「GANTZ」FILM PARTNERS



「BECK」

映画公開直前には主要キャストが日本テレビの情報番組をジャック、視聴率アップにも貢献した。

©ハロルド作石・講談社 ©2010「BECK」製作委員会

日本テレビグループ 2011経営方針

当社グループは、2011年度からの新中期経営計画を発表するべく準備をしておりました。しかし、東日本大震災の当社事業への影響等が不透明であることから、ある程度見通すことができるようになった時点で新中期経営計画を策定するのが最

善と判断するに至りました。このため、2011年度に関しましては、東日本大震災からの復興や、地上波デジタル完全移行に向けての取り組みを最優先にしつつ、一層の収益体質の強化を図るために、単年度目標「2011経営方針」を策定いたしました。

1 2010年度の取り組みと成果

「収益力の向上と視聴率トップ奪還の一年に!」という目標の下、グループ一丸となって収益力の向上を図り、業界トップの収益をあげることができました。

テレビ広告収入

- プライム帯、ゴールデン帯視聴率では首位局との差を大きく縮減。
- 2011年1月～3月の3か月は、4部門で首位を獲得。
- 2010年度のスポットシェアは、24.9%と前年比0.7ポイントアップ。

テレビ広告収入以外の収入

- 通販事業では、ネットワーク各局で通販特別番組を展開することで販路を拡大。売上を伸長。
- 映画事業では、今年1月29日公開の「GANTZ」が興行収入34億円突破の大ヒット。4月23日公開の「GANTZ PERFECT ANSWER」も好調に推移。

収益力の更なる向上

- グループ会社の損益改善も進み、連結経常利益は約387億円で、連結売上高経常利益率は13.0%と前年度の9.2%から大幅に改善。連結(通期)では、10期ぶりの増収増益を達成。

将来へ向けての積極投資

- 今年2月にアニメ制作会社(株)マッドハウスの第三者割当増資を引受け、同社を子会社化。
- 台湾や中国のコンテンツ市場への進出を目指し、台湾の大手ケーブルテレビ局中天電視と台湾で合弁会社を設立。
- 新規事業開発のため、企業内起業育成プロジェクトを開始。既に3つの事業案件がスタート。

2 2011経営方針

放送業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いています。これに加えて、東日本大震災の発生により、明るい兆しが見え始めたテレビ広告収入にも影響が予想されます。また、7月には地上放送の完全デジタル化が予定されています。このため当社は、これまで以上に強力なコンテンツを創造（企画・制作・プロデュース）し、より多くのお客様の満足を得ることが重要であると考えま

す。そして、収益体質のさらなる改善を進めながら、今年こそ視聴率トップの座を奪還、主力であるテレビ広告収入の収益力を磐石なものにするとともに、コンテンツを中心とした新たな収入源の開発にも積極的に取り組み、中長期的なビジョンに立った収入ポートフォリオの多様化に努めます。

3 新方針のポイント

- コアターゲット（13歳から49歳の男女）視聴率をアップさせ、世帯視聴率でトップを奪還。
- 収益の拡大と新たな収益源の開発。
- あらゆるコストコントロールの継続。
- グループ各社の個性を活かし、グループ全体の利益を拡大。



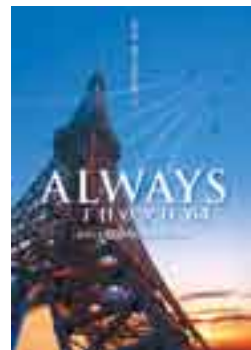
「ZIP!」
毎週月～金曜日 5:50～8:00 放送



「ヒルナンデス!」
毎週月～金曜日 11:55～13:55 放送



「映画 怪物くん」
2011年11月26日（土）全国東宝系
ロードショー 3D&2D同時公開
© 2011「映画 怪物くん」製作委員会



映画「ALWAYS 三丁目の夕日
'64」2012年公開予定
© 2012「ALWAYS 三丁目の夕日'64」
製作委員会

4 財務・配当政策

- 重要な経営指標は、「売上高経常利益率」とします。2010年度は13.0%と7年ぶりに同指標が二桁回復となりました。
- 配当につきましては、通期の一株当たり配当金は180円を下限とし、今後も自己株式取得なども含め、還元水準の向上に努めます。

当社グループでは、「2011経営方針」の着実な実行を目指して、全役員・従業員が一丸となって努力いたします。株主の皆様にも、より一層のご支援・ご指導を賜りますよう、何卒よろしくご願ひ申し上げます。なお、「2011経営方針」のプレスリリースおよび決算説明会における配布資料などは当社HPに掲載しております。下記URLをご参照下さい。

<http://www.ntv.co.jp/ir/index.html>

事業の報告

番組 | 合言葉は「トップ奪還!」

タイムテーブルとしては、土日ゴールデン・プライム帯を中心とした強固なレギュラー番組が引き続き好調を堅持、また平成22年の改編によりプライム帯が更に改善されました。

「嵐にしやがれ」(毎週土曜日22:00~22:54 放送/4月改編)、「コレってアリですか?」(毎週火曜日21:00~21:54/7月改編)の新番組が、コアターゲットを中心とした視聴者層の大幅改善を果たし、世帯視聴率でも前番組からアップさせることに成功しました。平日19時台でも、10月改編の「金曜スーパープライム」を加え、前年度比較で視聴率を向上させています。

今後は、構造改革の継続・強化を更に進め、フルデジタル時代らしく、新たな発想とチャレンジ精神で、時代の変化に対応できるフレキシブルなタイムテーブルを創り上げていきます。



「世界一受けたい授業」毎週土曜日 19:56~20:54 放送



「世界の果てまでイッテQ!」毎週日曜日 19:58~20:54 放送



「嵐にしやがれ」毎週土曜日 22:00~22:54 放送



「行列のできる法律相談所」毎週日曜日 21:00~21:54 放送



「世界1のSHOWタイム」平成22年10月3日(日) 19:00～21:54 放送



「第87回箱根駅伝」平成23年1月2日(日)3日(月) 7:00～ 生放送



「ものまねグランプリ」平成22年12月21日(火) 19:00～22:48 放送



「なんくるないさあ～今井絵理子が息子と歩んだ6年～」
平成23年3月5日(土) 10:30～11:25 放送

全国ネットとしては初の試みとしてクローズドキャプションの字幕CMを実施し、広告主の皆様から高い評価を得ました。

報道 | 看板ニュース番組が絶好調

早朝の「Oha!4 NEWS LIVE」は、朝にふさわしい爽やかな展開で視聴者の支持を集めており、平均視聴率は3.2%と、2位以下を大きく引き離しています。昨年4月からスタートした夕方の「news every.」は分かりやすさと親しみやすさが視聴者に支持され、18時台で今年1月、2月と2か月連続して月間首位を獲得しました。夜の「NEWS ZERO」は、的確な分析と分かりやすさが支持され、平均視聴率8.2%と、同時帯トップを維持しています。「真相報道バンキシャ!」は、タイムリーな内容と独自の視点が高く評価され、平均視聴率15.5%を記録するなど、日曜夕方の看板番組として定着しています。



「Oha!4 NEWS LIVE」
月～金曜日
4:00～5:50 放送



「NEWS ZERO」
月～木曜日
22:54～23:58、
金曜日
23:58～24:58 放送

コンテンツ・イベント | 放送外収入も、様々な分野で順調な伸び!

通販事業は売上100億円を突破。キー局TV通販の売上No.1を維持しました。「PON!PON!ポシュレ」「ポシュレデパート深夜店」も売上を伸ばし、お中元・お歳暮時期に放送される特番も売上・視聴率ともにアップしました。

ライツ事業は「それいけ!アンパンマン」などの商品化権が堅調、「AKB48」メンバーのマイクロSDカードも大ヒットしました。海外番販や番組フォーマットセールスも順調に売上を伸ばしています。

コンテンツファンド事業では、NTTDコモと設立した投資組合「D.N.ドリームパートナーズLLP」を運営し、投資・製作した900本のアニメドラマ・バラエティ番組を、DVD・商品化・配信などあらゆるメディアで展開しています。スマートフォン市場に向けて80本の動画・アプリも制作しました。

有料放送衛星事業は視聴可能世帯が順調に伸び、巨人主催全試合を完全中継する「日テレG+」と、ニュース専門チャンネル「日テレNEWS24」の2チャンネル合計の契約者数が1000万件を突破。またグループ会社シーエス日本が運営する「日テレプラス」の契約者数も200

万件を超えました。

イベント事業は、大型美術展としては「ボンペイ展」(昨年3月～6月横浜美術館)、夏恒例のスタジオジブリ展としては、映画の公開と連動して「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」(昨年7月～10月東京都現代美術館)を開催。番組と連動した「Music Loversライブ」や、「LADY GAGA」、「テイラー・スウィフト」など人気アーティストのコンサートを主催し、日本テレビのブランド力を高めました。「ズームイン!!SUPER全国うまいもの博」も全国14都市で開催し大盛況でした。



「ポシュレデパート深夜店」
毎週火～日曜日 深夜放送



月刊誌「3分クッキング」が好調。「人生が変わる1分間の深イイ話」の単行本「3行ラブレター」は10万部突破。「世界!弾丸トラベラー」と連動した書籍「ガールズバリ」も大人気でした。



BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」
毎週火曜日 20:00～20:54 放送



シーエス日本「荒川静香 フレンズオンアイス2010」より
PHOTO © Yuriko Imanaga



借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展 © 2010 GNDHDDTW

クロスメディア | フルデジタル対応と番組連動

ソーシャルネットワークやスマートフォン向けアプリ、データ放送など、視聴者の方々の多種多様なデジタルニーズに応えるべく、先進的な取り組みを他局に先駆け展開しています。例えば、日本のテレビ局初のFacebookページ立ち上げ、動画配信等を行うGyaO社と連携した番組プロモーション施策など、テレビや自社サイトとネット上の様々なサービスを効率的に組み合わせたクロスメディア展開を積極的に実施しました。また、番組と連動したアプリデータ開発や商品開発も盛んに行いました。



「久本&柴田の@特選品ハントSP」
平成22年4月24日(土)14:30~15:55 放送
日テレ7は番組と連動したセブンイレブンの商品「極上ロール」を販促。大ヒット!



新規ビジネス・トリアル「インキュベーション委員会」から生まれたソーシャルネットワーク「Dramatic 巨人軍」と人気番組のアプリデータ。

東日本大震災への取り組み

東日本大震災の発生以来、当社では、NNN(日本ニュースネットワーク)の総力を挙げて震災報道に取り組み、発生直後から通常番組を休止し、76時間にわたって、CMを入れずに報道特別番組を放送しました。未曾有の災害報道にあたっては、正確な情報に基づいた冷静な報道を心がけ、特に、原発関連報道では、視聴者の「見えない不安」をいたずらに煽ることのないよう、冷静で分かりやすい報道に徹し、視聴者からも「分かりやすく、落ち着いた報道」との評価を受けました。「復興」「原発」「景気」等、大震災に関する報道には、今後も長期的な視点で、正確、冷静、客観的に取り組んでまいります。

また、被災地への支援活動として、「24時間テレビ」が東日本大震災緊急募金を募り、8億3,000万円の義援金を贈呈した他、日本テレビネットワーク29社で構成するNNSでは、日本赤十字社を通じ、3億円の義援金を贈呈しました。(5月末現在)



「つながろうニッポン!」をコンセプトに震災被災者への支援サイトを早期に立ち上げました。



なでしこジャパン代表 岩清水梓(右端・日本テレビワーク24所属)も参加した日テレ・ベレーザの募金活動。

営業の概況

当連結会計年度における当社グループの連結売上高は、前年度に比べ9億6千1百万円増収(+0.3%)の2,978億9千4百万円となりました。

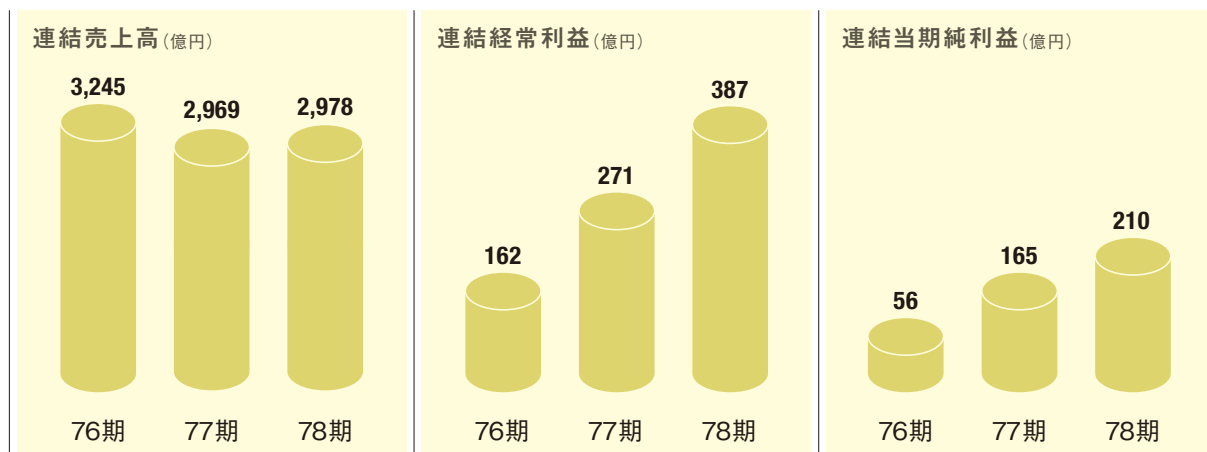
セグメント別にみると、コンテンツビジネス事業の売上高は2,927億6百万円となりました。このうちタイム収入は、広告主の固定費削減の影響を受け、レギュラー番組枠での収入が落ち込み、1,059億2千6百万円(前年度比△6.1%)となりましたが、スポット収入は、スポット広告費の地区投下量が増加するなど市況が回復傾向にあり、1,033億3千7百万円(同+11.6%)となりました。その他、映画事業で前年が好調だったことによる反動減があったものの、コンテンツ販売収入や、通信販売等の物品販売収入が好調に推移しました。

不動産賃貸事業の売上高は、麹町及び汐留地区のテナント賃貸収入を始めとする不動産賃貸収入が順調に推移し、72億6千1百万円となりました。

その他の事業の売上高は、番組関連グッズショップ「日テレ屋」を始めとする店舗運営からの売上などにより、26億6千1百万円となりました。

一方、費用の面では、売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、スポット収入の回復に伴う代理店手数料の増加があったものの、全ての費用項目においてコストコントロールを徹底したことにより、2,662億2千4百万円(同△2.6%)となりました。

この結果、営業利益は316億7千万円(同+34.4%)となりました。営業外損益におきまして、投資事業組合運用益が大幅に増加したこと及び関連会社の業績回復により持分法による投資利益が増加したことなどにより、経常利益は387億2百万円(同+42.4%)となりました。また、特別損失におきまして、投資有価証券評価損が増加したことなどから、当期純利益は210億4千8百万円(同+26.8%)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	期別	当 期 末	前 期 末
		平成 23 年 3 月 31 日現在	平成 22 年 3 月 31 日現在
〔資産の部〕	流動資産	156,899	140,770
	固定資産	371,498	373,018
	有形固定資産	197,080	201,025
	無形固定資産	2,472	2,593
	投資その他の資産	171,946	169,398
	資産合計	528,398	513,788
〔負債の部〕	流動負債	70,487	65,473
	固定負債	30,414	31,948
	負債合計	100,902	97,421
〔純資産の部〕	株主資本	422,787	408,939
	その他の包括利益累計額	△ 3,841	△ 998
	少数株主持分	8,550	8,424
	純資産合計	427,496	416,366
	負債純資産合計	528,398	513,788

連結損益計算書

単位：百万円

科目	期別	当 期	前 期
		自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日	自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日
売上高		297,894	296,933
売上原価		199,166	207,597
売上総利益		98,728	89,335
販売費及び一般管理費		67,057	65,772
営業利益		31,670	23,562
営業外収益		7,357	4,197
営業外費用		325	576
経常利益		38,702	27,184
特別利益		17	6
特別損失		2,483	1,822
税金等調整前当期純利益		36,236	25,368
法人税等		15,044	9,116
少数株主損益調整前当期純利益		21,192	—
少数株主利益(△:損失)		143	△ 344
当期純利益		21,048	16,595

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	期別	当 期	前 期
		自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日	自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日
営業活動によるキャッシュ・フロー		23,433	40,130
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 28,181	△ 46,846
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 7,131	△ 5,697
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 27	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 11,906	△ 12,411
現金及び現金同等物の期首残高		45,218	57,629
現金及び現金同等物の期末残高		33,312	45,218

「ミロのヴィーナス」
が身近に!

「モナ・リザ展示室」設置事業に続き、このたびルーヴル美術館が誇る「ミロのヴィーナス」の新しい展示順路が完成。資金面を支援した日本テレビから故氏家齊一郎前会長が出席して、完成披露式(昨年7月5



アンリ・ロフレット館長(右端)ら関係者と故氏家前会長(右から2番目)

日)が行なわれました。今後は「サモトラケのニケ」像の修復・環境整備事業にも全面協力します。

会社情報 (平成23年3月31日現在)

会社の現況

商号	日本テレビ放送網株式会社
設立	1952(昭和27)年10月28日
資本金	185億7,599万7,144円
主な事業内容	放送法による基幹放送事業及び一般放送事業 放送番組の企画、製作及び販売 その他放送に関連する事業
主な営業所	本社 東京都港区 関西支社 大阪市北区 名古屋支局 名古屋市中区

株式の状況

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	25,364,548株(自己株式598,648株を含む)
当期末株主数	40,206名

大株主

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	株式会社読売新聞グループ本社	3,764	14.8
2	読売テレビ放送株式会社	1,574	6.2
3	株式会社読売新聞東京本社	1,363	5.3
4	シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	1,241	4.8
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,058	4.1
6	シービーニューヨークオービスファンズ	1,041	4.1
7	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,024	4.0
8	学校法人帝京大学	897	3.5
9	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	760	2.9
10	株式会社リクルート	645	2.5

取締役・監査役 (平成23年6月29日現在)

代表取締役 会長執行役員	細川 知正	取締役	渡邊 恒雄
代表取締役 社長執行役員	大久保 好男	取締役	前田 宏
取締役 専務執行役員	田村 信一	取締役	堤 清二
取締役 常務執行役員	能勢 康弘	取締役	今井 敬
取締役 執行役員	渡辺 弘	取締役	佐藤 謙
取締役 執行役員	小林 裕孝	取締役	垣添 忠生
取締役 執行役員	小杉 善信	取締役	務台 猛雄
取締役 執行役員	丸山 公夫	常勤監査役	漆戸 靖治
		監査役	土井 共成
		監査役	加瀬 兼司
		監査役	白石 興二郎

「テレ小屋」 開講!

視聴者と番組制作者が直接意見を交換し合う「日テレフォーラム」は、新たな出前授業「テレ小屋」を始めました。テレビを理解し読み解く力「メディアリテラシー」について紹介するとともに、制作者と生徒たちがテレビを一緒に考えていく場にしていきます。記念すべき第1回は、埼玉県川口市立南中学校2年3組の教室。「日テレフォーラム」は今後年間3回「テレ小屋」を開催する予定です。



講師・古市幸子アナウンサーの話を、生徒の皆さんは、熱心に聞き入っていました。



印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション

©2011 by the National Gallery of Art, Washington / ©2011 by the National Gallery of Art, London



これを見ずに
印象派は
語れない。

ワシントン

Impressionist and Post-Impressionist Masterpieces from the National Gallery of Art

ナショナル・ギャラリー

2011年6月8日(木) — 9月5日(月)

国立新美術館

開催場所は変更になる場合があります。最新の情報は、公式サイト、HPにてご確認ください。
 開催期間：2011年6月8日(木) - 9月5日(月) 会場：国立新美術館（東京都港区新館） 観覧料：観覧料無料
 The exhibition was organized by the National Gallery of Art, Washington
 主催：国立新美術館（2011年6月8日 - 9月5日） 協賛：新国立美術館（2011年6月8日 - 9月5日）
 協賛：文化庁、文部科学省、経済産業省、国土交通省、建設省、国土交通省、国土交通省、国土交通省、国土交通省
 問合せ先：〒100-8558 東京都千代田区千代田1-1-1 国立新美術館 観覧料係 03-3568-1111

株主様ご招待「ワシントン・ナショナル・ギャラリー」展
 当社では9月5日まで、国立新美術館（東京都港区新館）にて「ワシントン・ナショナル・ギャラリー」展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクションを開催中です。
 アメリカの首都に建つワシントン・ナショナル・ギャラリーは、およそ12万点の西洋美術のコレクションを誇る世界有数の美術館。所蔵品には全て標記があり、その志を受け継いだ一般市民からの寄贈によるもので、それはまさにアメリカ市民が創った奇跡のコレクションといえます。

印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクションのご案内
 本展では、同館が所蔵品の中でも特に質が高くて知られる印象派とポスト印象派の作品から、マネ、モネ、ルノワール、セザンヌ、ブッソン、ゴッホなど、日本の公開作品約50点を含む全80点を紹介します。また、これまで日本では見られなかった名作の数々を日本で観覧することができ、大変貴重な機会です。ぜひ、株主の皆様にご覧いただきたいと、ご案内申し上げます。

※観覧が観覧券になつております。切り離してお使いください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日

株主名簿
管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

単元株式数 10株

公告の方法 読売新聞に掲載する。

株式に関する
お手続き

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様が口座を開設されている証券会社等にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため「特別口座」が開設された株主様は、「特別口座」の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、
租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付資料として使用することができます。
確定申告を行う株主様は、大切に保管ください。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。
確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。



日本テレビ放送網株式会社

〒105-7444 東京都港区東新橋一丁目6番1号

<http://www.ntv.co.jp>



Forest Stewardship Council™(森林管理協議会)の基準に基づき認証された、適切に管理された森林からの原料を含むFSC認証紙を使用しています。水なし印刷方式を採用するとともに、NON VOCインキを使用しています。

株主様ご招待観覧券

本券は、ご株主様ご本人、お名前
ご住所、ご電話番号、ご所属機関
ご印鑑、ご署名、ご捺印、ご貼付
のうえ、お申し込みください。

※印刷してお使いください。

ワシントン
Department of Post-Department Managers from the National Center for
ナショナル・ギヤラ
2011年6月8日(水)～9月5日(日)

国立新美術館
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-4-1

電話 03-3588-3111

観覧券の発行は、
2011年6月8日(水)～9月5日(日)
の期間に限り、
1日あたり1枚までです。
お申し込みは、
2011年6月8日(水)～9月5日(日)
の期間に限り、
1日あたり1枚までです。
お申し込みは、
2011年6月8日(水)～9月5日(日)
の期間に限り、
1日あたり1枚までです。



1
2